



# 群馬県立がんセンターだより

## 第37号

発行 平成 30 年 2 月 群馬県立がんセンター

### 理 念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

### 基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

## がん医療を担う

診療報酬改定の全貌がそろそろ明らかになる時期です。国の医療に対する考え方を示す指標と考えられます。少子高齢化が急速に進む本邦で、この先2年間の医療の在り方に大きく影響しそうです。がん医療にはどんな変化が求められるのでしょうか？

医療費を含む社会保障費の伸びを抑えることは、現行の保険医療を継続するために必要であると理解します。医療に求められることは、患者さんのQOL(生活の質)を維持し、健康寿命を延ばすこと、それまでの生活をなるべく変えないで人生という時間を過ごせるようサポートすることに異論の余地はないと考えます。

食道がん手術は開胸開腹を必要とする高侵襲手術ですが、内視鏡を使用した手術により早期離床が可能となっています。肺がんの手術も早期であれば内視鏡手術により早期退院される方が大部分です。前立腺がんの治療はがんの性格により多様ですが、内視鏡手術で患者さんは翌日には痛みもなく病棟を歩いておられます。抗がん剤治療の位置づけは、がんの根治を目指す治療から症状緩和治療まで様々ですが、通院治療センターを40床に増やし、多くの化学療法を通院で受けただけの体制をとり、社会生活を損なうことなく、がん治療を行えるようになりました。がん相談支援センターでは、セカンドオピニオンから転院、就労支援、在宅療養支援まで対応し、地域包括ケアをサポートします。放射線診断や放射線治療は最新設備を使いこなせる専門スタッフで、正確な診断、安全で精度の高い治療を行っています。リスクの高いがん医療ですが、看護、薬剤、検査、リハビリのスタッフが、安全、安心、早期回復へ向けて患者さんを支えます。

がんセンターは患者さん満足度の高いがん医療が受けられるよう、新規医薬品の治験や国立がんセンターを中心とする研究グループの臨床試験に参画し、新しい治療のエビデンス作りや患者さんの治療選択肢を広める努力をしています。ゲノム医療の推進も次期3カ年計画に盛り込みました。

最近、ご高齢の方ががん医療について取りざたされることが多くなりましたが、年齢よりも個人の体力や併存症の程度によって、治療が制限されることがあります。積極的あるいは根治的がん治療が、患者さんの望まない結果になることが決定的である場合に、許容されるのではないのでしょうか。

がん検診施設を設けていない本院が、センターとしての使命を果たすためには、地域連携が不可欠です。地域住民の皆さまや連携医の先生方には、適切な情報提供を行うとともに、より厚い信頼を得られるように努力していきたいと考えております。



院長 鹿沼 達哉

## 部署紹介

## 乳 腺 科

乳腺科は、乳房の病気、特に乳がんの診断と治療を内科（薬物療法）、外科（手術）の垣根を越えて行う診療科です。

外来診療は、水・木の午前に初診外来。月・火の終日が再診外来です。

手術は、水・木曜日に行っています。

現在4人の常勤医がおり、全員が十分な知識と経験を持った乳腺専門医です。またそれぞれに異なった個性と興味があることが、乳腺科の診療の幅を広げています。

乳がん罹患率は毎年増加し続け、現在女性のがん罹患率1位です。当院の初発乳がん患者数も漸増し、2016年は年間330症例を越え、10年間でほぼ2倍となりました。また古くから乳がん症例のデータベースを構築し、開院時からの5,500人を超える初発乳がん全症例を記録しています。

転移再発乳がんやステージ4乳がんの治療に対しても力を入れており、緩和ケア、在宅介護との連携も行います。診療姿勢として、患者本人が自分で判断・選択できるように、病状や治療の考え方・良し悪しを十分説明することを心がけています。そして本人の意思に科学的根拠を加味して、治療法と一緒に相談して決めます。

患者さんに乳がんのことを正しく理解していただくために、毎月第2金曜日の15時から「患者さんのための乳がん勉強会」を行っています。始めてからほぼ10年となりますが、勉強会に参加された方からは、「乳がんの考え方がよくわかった」と好評ですので、まだの方は是非ご参加ください。

日々医療は進歩しています。乳腺科は、医師主導臨床試験や企業治験に積極的に参加することで、現在の日常診療を科学的に理解し、より良い治療の開発に貢献し、ある時は未来の診療を患者さんに提供しています。2010年から毎週金曜日の午後に、遺伝性乳がんに対する「がん遺伝カウンセリング外来」を開設し、3年前からは予防的手術やインテンシブフォローも倫理委員会の承認を得ています。

毎月第2、4木曜日には、外部医療者も交えた画像診断病理カンファを放射線診断部、病理部と合同開催し、診断能力の向上に努めています。

乳腺科は、これからも多く診療科、医療者、職員のみなさまの御協力をいただきながら、チーム医療で診療したいと思いますので、よろしくお願い致します。



〔写真左より  
藤澤医師、柳田医師、森下医師、宮本医師〕

## 「がんと上手(うんま)くつきあう会」って知ってますか?

がんセンターでは、奇数月の第2土曜日に「がんと上手(うんま)くつきあう会」を開催しています。これは、患者さんやご家族を対象に、がんについて学んでいただくために、患者さんご家族、病院スタッフが「病気との上手な付き合い方」を語り合うというものです。

基本的に、第1部が講演会、第2部が茶話会の2部構成になっています。

講演会は病院スタッフ(医師・看護師・コメディカル等)による治療方法、生活支援、がん患者さんに係る社会状況等多方面に及ぶお話しをします。

茶話会は、当センターの患者さんご家族、病院スタッフがお茶を飲みながら、語り合うものです。

病気だけでなく生活、趣味に至るまで、いろんな話が聞けるので病院スタッフにとっても有意義な時間となっています。

今回は以下のおり予定しています。興味のある方はぜひ参加してください。

■日時：平成30年3月10日(土) 10:00～12:00

■場所：がんセンター 3階大会議室

■内容：〈第1部〉 講演 1)「消化器外科の治療」 10:00～10:30

消化器外科医師 尾嶋 仁

2)「抗がん剤と上手くつきあうために」 10:40～11:10

〈第2部〉 茶話会 11:20～11:50

～日常生活や皆様の気持ちなどを語り合いましょう～



### 【問い合わせ先】

群馬県立がんセンター がん相談支援センター

電話：0276-38-0771(代表) (平日9:00～17:00)

## 行事紹介

### リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 ぐんま

「つながろう がんに負けない いのちのリレー」をテーマにリレー・フォー・ライフ(命のリレー)は、がんに立ち向かう方々の勇気を称え、がん患者や家族、友人、支援者と共に地域一丸となってがん征圧を目指すチャリティー活動です。

群馬県では5回目の開催で、県内の企業や医療関係機関等から参加チーム76チーム、参加者数は2日間で延べ7,800人、がんセンターからは150人ほど参加しました。

リレーイベント参加者は夜通し交代で歩きます。共に語らうことで、がんへの理解が深まるとともに、あきらめない勇気、生きる希望を感じながら、がんと戦う人、共に生きる人、それを支える人が全員で作り上げたイベントとなりました。

(H29.10.7～10.8:ALSOKぐんま総合スポーツセンター ふれあいグラウンド)



### 「クリスマスコンサート」

恒例のクリスマスコンサートを開きました。

中世・ルネサンス音楽合奏団「Toca Toca(トッカトッカ)」の皆さんが美しい音楽を聞かせてくれました。

身近であり見かけることのない楽器に目を奪われ、グリーン・スリープスなどの聞いたことのある曲や、中世を思わせる賛美歌の清らかな響きに心洗われました。

演奏に合わせ「きよしこの夜」を合唱し、それぞれに想いを巡らせた年末のひとときでした。

(H29.12.20:2階外来ホール)



# 外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成30年2月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之	保坂 尚志	野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来) 藤本 栄	藤本 栄		今井 久雄	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 小川 敦 小澤 大悟	尾嶋 仁(新患) 深井 康幸 持田 泰 小澤 大悟	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 小川 敦 小澤 大悟
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 小野里良一		藤田 敦
		形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎
	(リンパ浮腫)		リンパ治療・指導	リンパ治療・指導	リンパ診断		
	(ストーマ外来)				午前 ストーマ外来	午前 ストーマ外来	午前 ストーマ外来
	第二外来	婦人科	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 松田 知子	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 松田 知子	鹿沼 達哉	中村 和人	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 松田 知子
歯科口腔外科			新垣 理宣		新垣 理宣	新垣 理宣	
頭頸科		鈴木 政美 高橋 亮介 (午前再診)		鈴木 政美 高橋 亮介 (午前再診)		鈴木 政美 高橋 亮介 (午前再診)	
		鈴木 政美 高橋 亮介 (午後新患)		鈴木 政美 高橋 亮介 (午後新患)		鈴木 政美 高橋 亮介 (午後新患)	
麻酔科		麻酔科医師				麻酔科医師 (午前 術前診察)	
泌尿器科		清水 信明 蓮見 勝	清水 信明 村松 和道		清水 信明 蓮見 勝 村松 和道	清水 信明 蓮見 勝	
		泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	泌尿器科医師 (午後、新患のみ)				
精神腫瘍科			村上 忠				
放射線科	放射線	江原 威 永島 潤 安藤 謙	江原 威 永島 潤 安藤 謙	江原 威 永島 潤 安藤 謙	江原 威 永島 潤 安藤 謙	江原 威 永島 潤 安藤 謙	

※緩和ケア外来の受診を希望される方は“がん相談支援センター”へお問い合わせください。直通電話：0276-60-0679

## 冬季流行感染症(インフルエンザ・感染性胃腸炎)の感染防止のお願い

- ・冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行しやすい時期です。感染症の持ち込みを防ぐため、お急ぎでない場合には、面会をお控えください。
- ・発熱、咳、鼻水、のどの痛み、嘔吐、下痢などの症状がある方、冬季流行感染症にかかってから1週間未満の方、抵抗力の弱い子供さん(12歳以下)の面会をご遠慮ください。
- ・来院の際は、手指消毒をお願いします。また、院内ではマスクの着用をおすすめします。

<ご理解ご協力のほど、よろしく申し上げます>

### 診察予約(初診、再診ともに予約制です。)

#### ・初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時を予約していただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

※今後、医師からのFAX予約を導入します

#### ・がん検診について

当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。

**予約電話 0276-38-0762**

- ・受付時間：午前9時から午後5時(休診日を除く)
- ・電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までをお願いします。

※休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

**入院者の面会時間 午後0時30分～午後7時30分**

## 群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1  
TEL 0276-38-0771 (代)  
FAX 0276-38-0614  
URL <http://www.gunma-cc.jp>

